

「青少年指導員50周年に思うこと」

泉区青少年指導員協議会 会長 青木 日出男



青少年指導員の活動の歴史が50年になりました。おめでとうございます。50年前というと、自分が大学生になった年。普段は意識していませんでしたが、青少年指導員50周年記念の活字を見ることが多くなり、改めて50年前を振り返って若いころの事を思い出しました。当時は青少年指導員の存在を知りませんでした。自分が青少年指導員になって22年。その倍以上の期間を多くの方が引き継いで、半世紀も活動が続いてきたということに感心します。

平成30年3月11日(日)には、神奈川県青少年指導員制度50周年記念大会が横浜みなとみらいホールの大ホールで開催されます。50年の節目に泉区の会長でいられたことは運の良さだと思い、地元開催となる大会では、横浜の青少年指導員として立派な記念式典となるよう微力ですが全力を尽くしたいと考えています。

50周年記念誌編集委員の皆様ご苦労様です。

「青少年指導員制度50周年に寄せて」

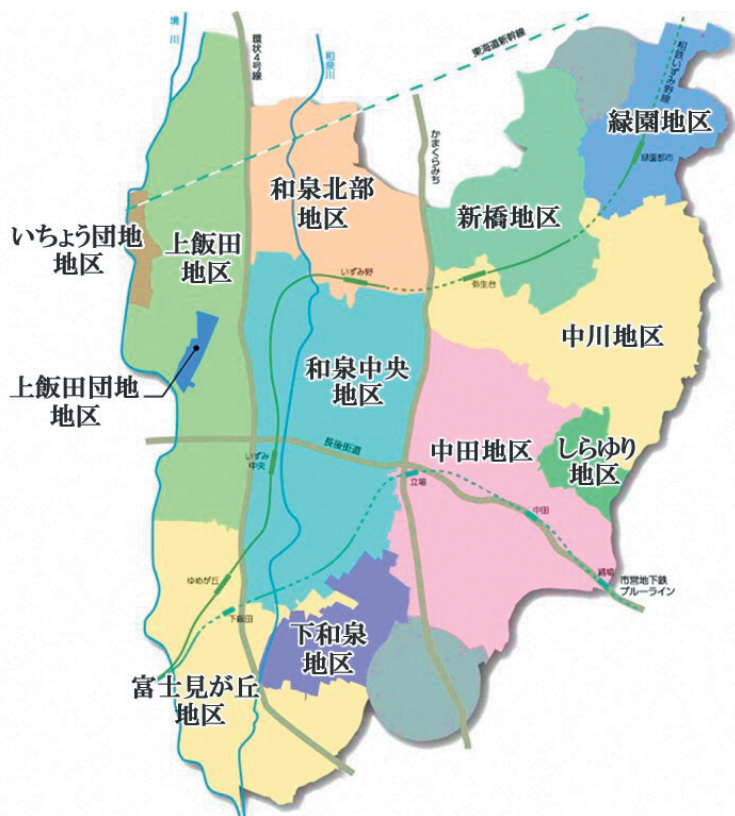
泉区長 額田 樹子



青少年指導員制度が50周年を迎えられましたことを、心から御祝い申し上げます。また、青少年指導員の皆様には、長年にわたり地域の青少年健全育成のために御尽力を頂き、誠にありがとうございます。

泉区青少年指導員の皆様には、薬物乱用防止の啓発活動をはじめ、非行防止のための夜間パトロール等を実施いただいておりますが中でも「ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会」は、中学生と障がい者との交流に御支援をいただき、参加される多くのみなさんに大変喜ばれている行事の一つです。このほか、青少年に活動の発表の場を提供する「青少年フェスティバル」も開催される等、さまざまな熱心な取組により、健全な地域社会づくりの実現に寄与されています。

これもひとえに、泉区青少年指導員協議会を支えてこられた歴代の役員、指導員の皆様の御努力によるものと考えており、泉区としましても、今後も、皆様とともに青少年の健全育成に向けた取組を推進してまいりますので、一層の御力添えをお願いいたします。



泉区の概要

人口 約15万3千人
面積 23.56平方キロメートル

泉区青少年指導員の構成

女性
32人

男性
119人

70代
10人

20~30代
10人

60代
46人

50代
44人

40代
41人

地区名	委嘱人数	平成28年度の主な活動
中川地区	22	ドッチボール大会
緑園地区	11	横浜市民防災センター体験
新橋地区	8	歩け歩けハイキング
和泉北部地区	10	防犯功労表彰受賞
和泉中央地区	21	和泉川クリーンアップ
下和泉地区	7	子ども会バスツアー
富士見が丘地区	9	流しそうめん
上飯田地区	13	上飯田文化展
上飯田団地地区	7	輪投げ大会
いちょう団地地区	7	おでかけ会
中田地区	28	サマーキャンプ教室
しらゆり地区	8	子どもフェスティバル
合計	151	



泉区マスコット
キャラクター
『いっずん』

■泉区青少年指導員協議会について

区青少年指導員の代表をもって組織し、会長 1名、副会長 2名、会計 1名、監査 2名を置く。また、事業部、広報部、社会環境担当で組織する。

※データの基準年月日平成29年10月1日時点

ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会 (吉川 明)

今年で第26回目を迎えた「ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会」が、晴天の中実施され、障がい者の皆さんと中学生の交流が行われました。

大会では、昼食に青少年指導員がつくったカレーを参加者に食べてもらうことが恒例となっており、わたしは昼食のカレー担当として参加しました。少年たちの食欲



は大変なもので、ある少年たちは4杯もおかわりをしたのにまだ食べられるという顔をしていたのは大変驚きでした。食欲旺盛なのか、よほどカレーの味がよかったのかはわかりませんが、カレーの配食は大盛況のうちに終了いたしました。今後も、一緒にスポーツをしながらカレーを食べたりすることを通して、参加者の心の

交流が深まっていくことを期待しています。



全員研修会 (大島宗夫)



毎年、泉区の青少年指導員の研修が開催されています。今年6月11日に中川地区センターで開催されました。午前には、元JAXAの的川泰宣博士の講演でした。宇宙や星の話の中で、子どもの成長には好奇心が必要で、大人は子供の好奇心をきちんと受け止めることが大切ではないかという話が印象に残りました。午後は、毎年恒例の各地区対抗のペタンク大会が行われました。スーパーショットで「勝った!」と思ったところ、さらにスーパーショットが飛び出し、逆転に次ぐ逆転で勝負が決まるなど、白熱したゲームが繰り広げられました。ゲームに負けて

も、ゲームを観戦するだけでも十分に楽しめました。泉区の青少年指導員の皆さんの親睦が深まった一日でした。

泉区民ふれあいまつり (遠藤義隆)



毎年、11月3日に和泉遊水地において、泉区民ふれあいまつりが開催されております。子どもたちの未来を創る“いず魅力”をテーマに多くの区民の皆さんが一堂に会し、ふれあいの場を持つことで、一層の郷土愛と相互の絆を深め、明るく元気の出る街づくりを推進する目的で行われております。

ステージでは保育園、小・中・高・大学生や各種団体が出演し、和太鼓やフラダンス、吹奏楽演奏そして泉区民音頭などのイベントがあり楽しませています。模擬店もたくさん出展され、それぞれ特徴あるプロレベルのグルメ店が出店されました。私たち青少年指導員も昨年、玉こんにゃくおでんとサイコロステーキを出店しました。とても評判がよく、「もっと材料を準備すればよかったかな」と思いました。親子で楽しめるふれあい広場では、子どもたちに人気のスライムやむかし遊びも私たち青少年指導員が担当しております。11月3日に向けてレッツゴー。



青少年フェスティバル (鳥海和宏)



毎年、泉区では青少年フェスティバルを行っており、今年3月12日に行われました。以前は、模擬店を中心にマーチングバンドや高校生のバンドを屋外の和泉遊水地で行っていましたが、雨天のことも配慮し屋内で行うことになりました。そのため、旭区の音楽祭等を視察し、平成25年度からは泉公会堂で開催できるようになり、今年で4回目の屋内での開催となりました。

ホールでは、小学校のマーチングバンド、バトン、空手や和太鼓、高校生によるバンド演奏等が行われ、屋外ではキャラバンカーにより薬物の恐ろしさを知っていただく薬物乱用防止キャンペーンも行われました。



「青少年指導員として」

瀬谷区青少年指導員連絡協議会 会長 高橋 三雄



青少年指導員制度50周年を迎え、お祝いできることを大変嬉しく思っております。

私も青少年指導員となりまして、24年になります。

その間諸先輩方に区全体行事として、瀬谷っ子探検隊、瀬谷かるた大会、せやっこ農体験などを企画していただき、現在も恒例行事として開催されております。

昨今の青少年問題については、とにかく青少年指導員でどうにかならないのかという声も聞こえてきます。長年の課題であります、個人情報保護法の問題、ボランティアという立場など、なかなか立ち入れないのが現状です。

現在できることは、イベントなどを通して、健全育成やパトロールなどで地域を活性化させることだと思っております。

できる範囲で楽しく活動していきたいと思っております。

「青少年指導員制度50周年に寄せて」

瀬谷区長 森 秀毅



青少年指導員制度の発足から、今年で50周年を迎えましたことを、心からお祝い申し上げます。

少子高齢化や情報化の急速な進展などで、青少年を取り巻く環境は大きく変化しています。特に近年は、携帯電話やスマートフォンなどの普及に伴い、子どもたちがSNSを利用する機会が増え、顔を知らない他者でも容易に交流が持てるようになりました。

一方で、それらの持つ危険性を軽視して利用した結果、青少年が巻き込まれる事件や事故が、たびたび報道されています。

このような事件や事故を未然に防ぐためにも、地域などの身近な人を中心に、世代を超えた顔の見える関係づくりが、今後非常に大切になると思います。

その意味で、普段みなさまが地域で取り組まれている事業は、子どもたちが安心して、世代を超えて地域の大人と交流ができる、大変貴重な機会と言えます。

瀬谷区としましても、今後も社会全体で子どもたちを見守る意識を高めることが大切であると考え、引き続き支援事業に取り組んで参ります。

<瀬谷区の構成地区図と各地区の取組紹介>

瀬谷北部地区

青少年指導員数：11名
定期的にカロリング大会やシャボン玉遊びをしながら、子供たちと交流を図っています。

細谷戸地区

青少年指導員数：8名
ボーリング大会やかかるた大会の他に、地域の行事と連携した活動を多く行っています。

相沢地区

青少年指導員数：16名
楽しい遊びとゲームの集い・相沢冒険隊等の独自事業や、こども球技大会等で活躍しています。

本郷地区

青少年指導員数：8名
毎年11月3日に日枝社境内でふれあい文化祭を企画・運営しています。

瀬谷第四地区

青少年指導員数：15名
地区連合自治会と連携して「レクリエーション大会」等、地域に根ざした取組を行っています。

瀬谷第一地区

青少年指導員数：10名
小学生を対象にした「DO(ドゥ)スポーツ」や小学校でグラウンド・ゴルフを行っています。

三ツ境地区

青少年指導員数：13名
スポーツ推進委員と一緒に、夏レク(カレーパーティ)を行っています。

瀬谷第二地区

青少年指導員数：24名
潮干狩りやジュニアキャンプを実施し、ちびっ子フェスティバル等に参加協力しています。

阿久和北部地区

青少年指導員数：11名
瀬谷かるた大会の演習として、毎年12月にかかるた会を実施しています。

南瀬谷地区

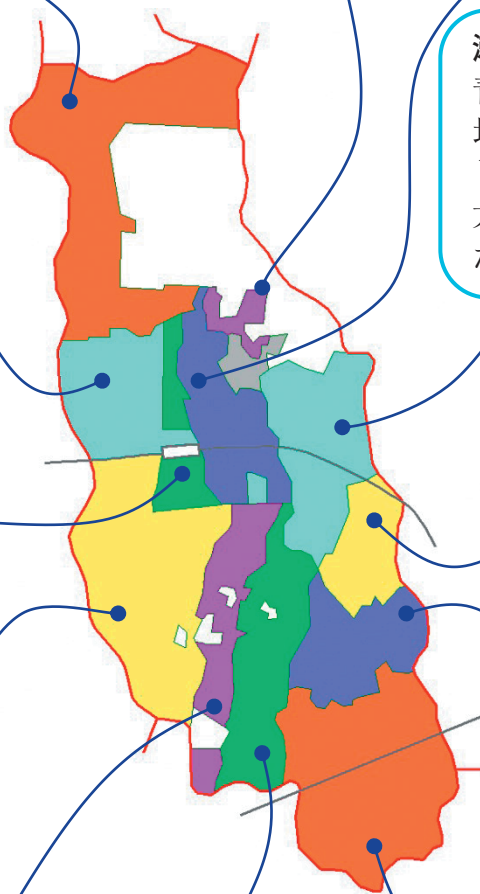
青少年指導員数：12名
子どもたちとの親睦のため、クリスマス会を開催し、工作やゲーム等で交流を深めています。

宮沢地区

青少年指導員数：11名
【瀬谷かるた大会で優勝しよう!】をスローガンに、宮沢かるた大会を開催しています。

阿久和南部地区

青少年指導員数：14名
デイキャンプやウォークラリーを中心に、連合自治会とともに日々活動しています。



<瀬谷区の活動紹介>

・瀬谷っ子探検隊

瀬谷区で一番長く続いているイベント、瀬谷っ子探検隊。

区内在住・在学の小学生を対象に、平成10年度から毎年開催しており、今年度で20年目と、節目の年を迎えました。

事業開始時はバスを貸し切り、横浜みなとみらい21や宮ヶ瀬ダムなど、市内・県内の様々な場所や研修施設等を訪れていましたが、近年は電車と徒歩で行ける大きな公園に行き、クイズラリーやフォトビンゴなどをして、楽しく1日を過ごす企画となっています。



瀬谷っ子探検隊2010 @宮ヶ瀬ダム



瀬谷っ子探検隊2017 @旭区・こども自然公園

・瀬谷かるた大会

瀬谷歴史かるたを使用する瀬谷かるた大会が、今年度で14回目を迎えました。

参加対象者は、区内在住・在学の小学生。各学年1チーム3名の対抗戦で、予選は3チームでリーグ戦を行い、リーグ戦を勝ち残った4チームが決勝トーナメントに進出し、優勝から4位までを決めます。

当初は、1・2年、3・4年、5・6年の部の3部門で始まりましたが、次第に参加者が増え、第8回大会から学年ごとの6部門になりました。現在では、毎年70チーム近くの応募があり、会場は活気に溢れます。

瀬谷歴史かるたは昭和55年、瀬谷歴史かるた発刊委員会により発行され、平成9年に再発行、平成25年に復刻版が制作されました。読み札には「瀬谷銀行」「長屋門」や区内の社寺など、瀬谷区の歴史が題材になっており、旧かな遣いの「ゐ」や「ゑ」を含む、全49枚で構成されています。



各チームが優勝を目指して戦います



コンマ数秒差！臨場感が伝わってきます

・せやっこ農体験

平成16年から始まったせやっこ農体験。地元で農家を営む方の協力を得て、区内在住・在学の小・中学生を対象に、年間5回程度実施しています。

区役所が主催ですが、青少年指導員が当日の運営を中心に事業協力しています。

今年度は、田んぼでは田植えから収穫まで、畑ではサトイモ・サツマイモ・ラッカセイの植付けから収穫までを体験し、最後に食育と玄米の試食を行いました。

募集定員は60名ですが、毎年大変人気があり、ここ数年は連続して定員を超える応募があります。



事業開始前には、毎回綿密な打合せを実施しています。



ご協力いただいている農家の高橋さん

【体験の様子】



サツマイモの植付け



ラッカセイの収穫

田植え



稲刈り

